

## 平成27年度9月補正予算について

### ◎はじめに

今回の補正予算は、南海トラフ地震や台風、集中豪雨等に備え、県民の安全・安心を確保するため、避難道路や河川、砂防施設の整備など、緊急に行うべき防災・減災対策を県単独で積極的に推進することとした。

併せて、農林水産業や商工業、観光の振興のほか、移住促進や教育・スポーツの充実など、地方創生のための交付金も最大限活用し、今年度の後半において早急を実施すべき施策を厳選して編成することとした。

### ◎具体的な予算編成方針については

#### ○県民の安全・安心確保対策の推進

##### 1 県単独緊急防災・減災対策事業

南海トラフ地震や台風、集中豪雨等に備えるため、地域住民の避難や緊急物資の輸送等に大きな役割を果たす緊急輸送道路等の改良や危険箇所の解消、橋りょうの耐震補強等の促進に取り組むこととした。

また、地震や津波による浸水被害を防止するため、被害が想定される河川堤防や護岸の改修、水門等の機能改善に取り組むほか、土砂の堆積が著しい箇所の河床掘削を推進することとした。

さらに、海岸や港湾施設の機能強化を図るため、護岸・岸壁の耐震補強や護岸開口部の閉鎖対策等に取り組むとともに、土砂災害から県民の生命・財産を守るため、がけ崩れ防災対策を促進するほか、特殊土壌地域等における砂防施設の整備を可能な限り前倒しで実施することとした。

#### ○当面する課題への対応

##### 1 産業の振興

###### (1) 農林水産業の振興

キウイフルーツかいよう病（Psa 3 型）の被害により、樹体共済制度適用開始前に園地の全伐採に踏み切った生産者の営農再開を促進するため、改植や栽培管理施設の整備について支援することとした。

また、生産者の所得向上と農山村地域の活性化を図るため、県産米の加工・生産・活用方法に関する新技術の研究開発に取り組み、消費拡大と生産コストの低減に努めるとともに、乾たけのこの産地化を目指し、生産拡大のための基盤整備等を支援するほか、6次産業化商品の販売促進を図るため、まちなかチャレンジショップの運営にも取り組むこととした。

さらに、経営維持が困難となっている中小漁業者の経営再建を支援するため、漁業経営維持安定資金について利子補給を行うこととした。

## (2) 商工業の振興

円安による原材料の高騰など、景気の下振れリスクがあることを踏まえ、緊急経済対策特別支援資金の新規融資枠を拡大し、県内中小企業の資金繰り支援に万全を期することとした。

また、U I Jターンを希望する企業経営等のプロフェッショナル人材を活用し、中小企業の新たな事業展開を支援するとともに、「スゴ技」ブランドの知名度向上を図るため、業界専門紙やP R動画等による積極的な情報発信に努めるほか、本県が開発したデルフィニウムの新品種「さくらひめ」のイメージを活かした本県のブランド力の向上と営業力の強化や、県内大学生と連携してマレーシア等への加工食品の販路拡大に取り組むこととした。

さらに、若者の県外流出に歯止めをかけるため、新規学卒者向けの合同会社説明会を開催し、県内中小企業等への就職支援に取り組むこととした。

## (3) 観光の振興

自転車新文化を推進するため、ニーズを踏まえた施設整備やサイクルレスキュー体制の構築に向け、実証試験を交えながら受入態勢等の充実のための調査・検討を行うほか、コースガイドマップを作成するなど、裾野の拡大とサイクリングパラダイス愛媛の実現に向けた環境整備に取り組むこととした。

また、サイクリングの新たな楽しみ方の提案として、グリーン・ツーリズム体験をセットにした農林漁家民宿へのサイクリストの誘客促進に取り組むとともに、南予地域でのサイクリング観光の振興を図るため、J R四国と連携して、サイクルトレインの整備を行うほか、来年度、しまなみ海道で開催を予定している国際サイクリング大会の準備を着実に進めることとした。

さらに、大都市圏での電車等への観光P R広告の掲載や、首都圏等を旅行する訪日外国人観光客向けのオプションツアーの造成など、県内外からの観光客の誘客促進にも積極的に取り組むこととした。

## 2 移住等の促進

地域の担い手を確保するため、東京都での移住フェアの開催や移住相談情報等のビッグデータを活用した移住マッチングシステムの開発など、えひめの魅力発信と移住者受入態勢の強化に取り組むこととした。

また、U I Jターン者の新規創業や事業承継を促進するための社会実験を実施し、実効性のある支援スキームを検討するとともに、大都市圏から移住してきた高齢者が起業や就業をし、地域に貢献することを目指す本県独自の愛媛型C C R Cの導入に向けた調査・検討を行うこととした。

### 3 教育・スポーツの充実

県立高校において、若者の地域への定着・回帰を目指す取組みをモデル的に実施するとともに、今治工業高等学校へ造船コースを新設するために必要となる校舎等の整備を行うほか、今治特別支援学校において児童生徒及び保護者の負担軽減を図るため、通学用スクールバスを整備することとした。

また、1万人のランナーが参加する愛媛マラソンや今治市で開催される全国身体障害者アーチェリー選手権大会への支援を通じて、本県のスポーツの振興と地域の活性化を図ることとした。

### 4 福祉の充実、女性の活躍推進

障害者の自立促進を図るため、授産製品の展示販売イベントを開催し、授産製品の一層の消費拡大に取り組むとともに、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための包括的な支援・サービス提供体制を構築するため、西予市と連携して、人材育成プログラムを開発することとした。

また、女性が輝く活力ある社会の形成を目指し、推進大会の開催等を通じて機運の醸成を図ることとした。

## ◎この結果

平成27年度9月補正予算の総額は、

一般会計	98億9,702万円		
	(26年9月	104億	931万円)
特別会計	—————		
	(26年9月	—————	)
企業会計	—————		
	(26年9月	—————	)
合計	98億9,702万円		
	(26年9月	104億	931万円)

であり、これを前年度の9月補正予算後の累計額と比較すると、

一般会計	256億5,997万円の増	(4.12%の増)
特別会計	27億2,527万円の増	(1.98%の増)
企業会計	109億9,522万円の減	(15.34%の減)
合計	173億9,002万円の増	(2.09%の増)

となっている。

なお、このたびの一般会計補正予算に充当した財源は、

国庫支出金	5億2,409万円
負担金、寄附金等	1億3,694万円
その他の特定財源	48億7,597万円
一般財源	43億6,002万円
┌ 繰越金	6億 502万円
└ 県債	37億5,500万円

である。